

## ⑳古市場御望線

### 路線の概要

#### 現在の計画

- 古市場御望線は、昭和60年の市街化区域拡大に合わせて北西部市街地の東西方向の幹線街路として決定されました。
- その後、延長等が変更され、現在は古市場神田～御望6丁目を起終点とし、計画延長3,530m、標準幅員12mの幹線街路として都市計画決定しています。

#### 整備状況

- 全線未改良で、東側の一部区間を除き現道があります。



— 改良済    - - - 未改良

### 見直しの理由・内容

#### 路線の主な役割・機能

- 岐阜市北西部の東西方向の補助幹線街路として、地域内の幹線道路を連絡する機能が求められています。

#### 見直しの理由 変更

##### 歩道機能の変化

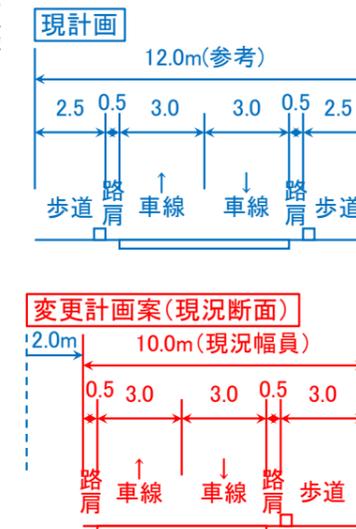
- 2車線両側歩道で計画されていますが、区間の大部分が市街化調整区域で沿道に住宅や施設等の立地の拡大は見込めず、また市街化区域では住宅地側に幅員3m程度の歩道が整備されており、**現況の片側歩道でも対応可能**と考えられます。
- 現道は既に2車線の車道が確保されており、**現道幅員に合わせ2車線片側歩道に変更**しても、北西部の東西方向の幹線街路としての機能を果たしていると考えられます。

##### 歩行者・自転車の状況

- 通学路に指定されていますが、既に学校付近には幅員3m程度の両側歩道があり、また学校から離れた区間でも幅員3m程度の片側歩道が整備されているため、**現道でも対応可能**と考えられます。



#### 道路断面図(参考)



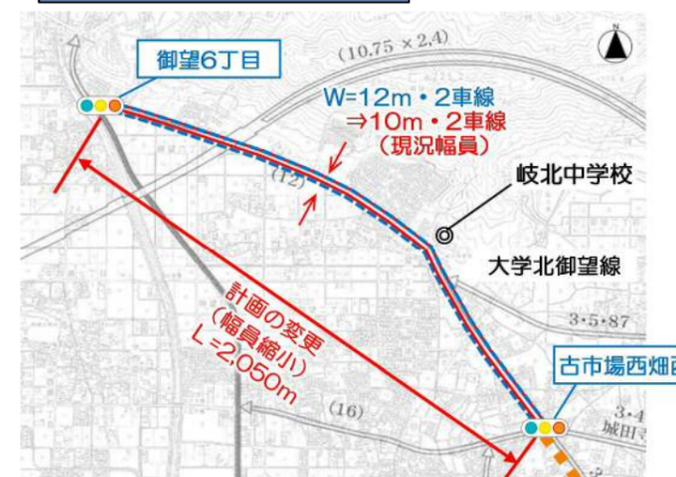
### 都市計画変更(案)の内容

#### 【3・5・85 古市場御望線】

- 古市場西畑西交差点から御望6丁目交差点までの延長約2,050mの区間は、計画幅員12m・2車線から現況幅員の10m・2車線に縮小する「計画の変更(幅員縮小)」と考えます。

— 未改良

#### 都市計画変更(案)平面図



### 現地の状況写真

